寄　　稿

故山下貢司先生（名誉会員）に心より哀悼の意を捧げます

初鹿　了
川崎医科大学名誉教授

岡山実験動物研究会名誉会員の山下貢司先生は、2004(H.16)年12月29日にご逝去されました。享年76歳でした。先生のご葬儀は、2004年12月30日に大学関係者他多数が参列してしめやかに執り行われました。また、川崎学園・川崎医科大学の教職員とのお別れ会(故山下貢司先生を偲ぶ会)が2005(H.17)年1月22日に行われました。

このたび、本研究会事務局から山下先生の追悼文執筆依頼がありましたので、先生のご生前を偲びつつ思い出の一端を綴らせて頂きました。

山下先生は大阪のご出身で、1953年(S.28)に大阪医科大学医学科をご卒業になり、1960(S.35)年11月から1974(S.49)年9月まで山口県立医科大学・山口大学医学部において、病理学をご専門としてウイルスの感染病理に関する研究に専念されて、この分野において多くの研究業績を挙げられ、貴重な研究論文を学会誌その他に数多くご発表されておられます。先生は、山口大学医学部に約14年間在籍された後、1974(S.49)年10月に川崎医科大学(病理学教授)にご就任されました。

山下先生は、川崎医科大学において病理学・病院病理部を主宰され、その後は学長補佐・副学長、川崎医科大学附属病院において副院長・病院長等の要職を歴任されました。2003(H.15)年に病院長をご退任後は、川崎医科大学現代医学教育博物館館長、財団法人川崎医学・医療福祉学振興会理事に就任しておられました。川崎医科大学副学長にご就任中は、教務・学生関係など医学科大学学生の教育全般に関わりをもたれ、病院長にご就任中は今日的な大学病院としての在り方を再検討されて、患者さんを最優先とした外来業務機構を始め

ご略歴

1928年12月22日	ご誕生
1953年 3月	大阪医科大学医学科卒業
1960年11月	山口県立医科大学講師
1966年 4月	山口大学医学部講師
1974年 3月	山口大学医学部助教授
1974年10月	川崎医科大学教授
1979年 4月	川崎医科大学学長補佐
1980年 4月	川崎医科大学附属病院副院長
1980年 5月	学校法人川崎学園評議員
1981年 4月	川崎医科大学副学長
1983年10月	川崎医科大学現代医学教育博物館副館長
1995年 3月	学校法人川崎学園理事
1995年 4月	川崎医科大学附属病院院長
1995年 4月	川崎医科大学名誉教授
1997年 4月	川崎医科大学現代医学教育博物館館長
1999年 9月	岡山県知事表彰(救急医療事業功労)
2003年 4月	財団法人川崎医学・医療福祉学振興会理事
2004年12月29日	ご逝去 叙位叙勲受賞 (従五位瑞宝賞綬章)

とする診療科各部署の運営等について抜本的な改革を推進されたと側聞しております。このように、山下先生は川崎医科大学・同附属病院の発展に寄与され、数多くの功績を残されております。

山下先生は、岡山実験動物研究会にとりましても重要な会員で忘れ去ることのできない方であります。すなわち、先生は1982年の発足から24年も続いている本研究会の創設者のお一人であります。本研究会初代会長の猪　貴義教授（本研究会名誉会員）が述べられていらっしゃるように、先生は実験病理学の立場から実験動物の重要性にご関心があり、本研究会の創設の段階から参画されて本会の将来像について確固たる方針をご提示される等、情熱をもって本会の発展に貢献されました（本誌 20号: 15-19, 2005）。

山下先生は明るく温厚活発なご性格で、積極的且つ強い責任感を持たれ、思考の切り替えが早く、人に対してよく気配りをされる方でした。先生は、他人から相談ごと等を受けられると親身になって真剣に聞いてくださり、学内で問題が起これば何事についてもご自分の足でその事を確認され、的確に判断して事後処理に当たられました。

先生のご講演を幾度か拝聴する機会に恵まれましたが、先生は聴衆の理解度を第一義に考えられて、講演ごとにご自分で作成された詳しい参考資料を提示され、その資料に基づく先生のご講演は聴衆に対して説得力がありました。毎日をご多忙にお過ごしの先生が、このような詳しい資料を何時何処でお作りになるのかと思っていました。先生は談話会等の席で気が向けば関西弁・山口弁を交えての談論風発、ときに豪快に笑われるそのお姿が今でも脳裏に浮かんできます。

また、先生は球技万能のスポーツマンでもありました。特にサッカー・野球等に精通され、夏の時期に奥様ご同伴でプロ野球ナイター観戦に行かれたのを何度か拝見しましたが、今はもうそのお姿をお見受けすることはできません。平成16年の秋頃にお会いした時の先生の笑顔が瞼に焼き付いており、生前のお姿を思い起こすたびに享年76歳と云う未だ人々から先を期待される年齢で突然他界されたことが誠に残念でなりません。

山下貢司先生、心安らかにお眠り下さい。そして今後も私たち後輩の活躍を見守って下さい。ここに謹んで哀悼の意を表し、先生のご冥福をお祈り致します。